

擧觚

河野鐵兜著。元治年中か。明治三七年八月二十五日発行の雑誌「百花欄」に掲載。

落語の「佃祭」にも齒痛の神様である戸隠権現が出てくるが、河野鐵兜の「九頭ハサスガニ靈物ナリ、此味ヲ享クルヲ千百年、老牙ノ脱落セザルヲ異トスベシ」との記述にもユーモアが溢れている。

大抵甘味、齒ニ害アリ、砂糖最甚シ、果物ニハ梨子ヲ甚シトス、齒痛ノ時、梨子ヲ斷ジテ戸隠山神ニ祈レバ忽チヤム、食スレバ又痛ムト云、故ニ世俗甚神驗ヲ稱ス、山祠ニ詣ヅル者、皆梨ヲ以テ幣トス、深キ奥ニテ咀嚼ノ聲ヲ聞クト云、神ヲ九頭龍權現トイフ、余性梨ヲ嗜ミ、食スルヲ多シ、近時牙齒漸牢ナラズ、ヤ、モスレバ痛ム、梨ヲ食スル毎ニ、一片ニモ痛マザルヲナシ、従前ノ快味再ヒ逢ガタキヲ恨ム、九頭ハサスガニ靈物ナリ、此味ヲ享クルヲ千百年、老牙ノ脱落セザルヲ異トスベシ、

註 「擧觚」は「続日本隨筆大成」第三卷にも所収。